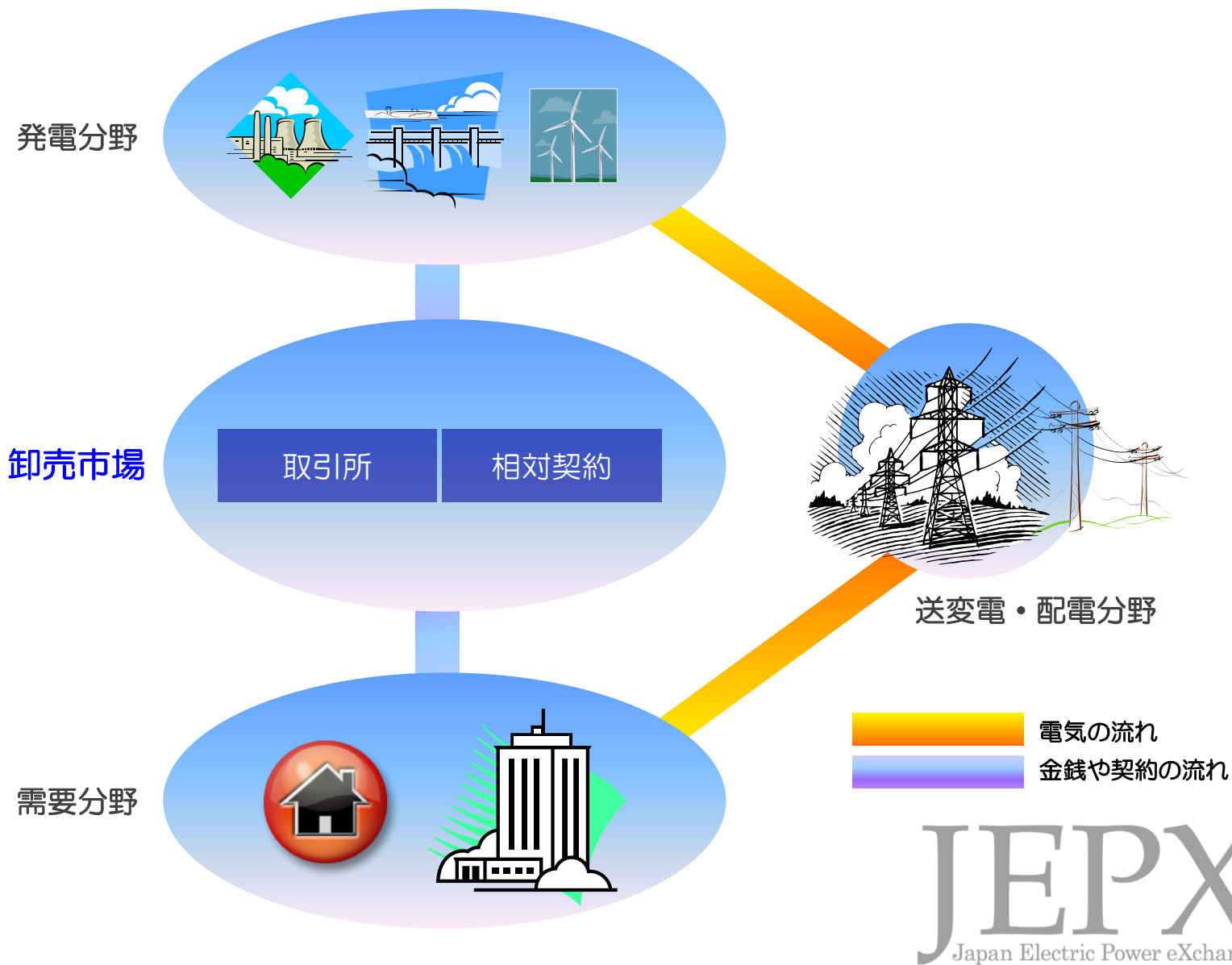

卸電力取引所の仕組みと 取引の現状

一般社団法人日本卸電力取引所
國松亮一

JEPX
Japan Electric Power eXchange

電力市場の構造



実需要までのマーケットの種類



日本の電力自由化と日本卸電力取引所（JEPX）の沿革

日本の電力事業は戦後の電力事業再編により国内を9のエリアに分割し、それぞれのエリアで民間の電力会社が発送配電を行ってきたが、90年代初頭の大不況により電気料金の低減化が望まれた結果、競争原理を導入することでその実現が狙われ、1995年、発電部門の自由化を皮切りに電力自由化が始まった。

1995年 独立系発電事業者（IPP）の発電市場への参入が可能となる

2000年 大口（2万V以上受電、契約電力2 000kW以上）の小売自由化

2003年 電気事業分科会報告「今後の望ましい電気事業制度の骨格について」を受け、取引所（JEPX）設立

2004年 高圧（500kW以上）の小売自由化

2005年 JEPXで取引開始（スポット取引・先渡取引）

2005年 高圧（50kW以上）の小売自由化

2008年 自由化範囲の再定義（低圧の自由化については明文化せず）

2009年 時間前取引の取引開始

2011年 東日本大震災

2013年 電力システム改革 閣議決定

2015年 広域系統運用の拡大

2016年 全面自由化

2018年 間接オークションの実現

JEPX
Japan Electric Power eXchange

日本卸電力取引所(JEPX)とは

2014年度より本取引所ホームページ（<http://www.jepx.org/>）にて日々の取引実績を公開するようになりました。スポット取引のインデックスおよび各エリアの市場価格等を確認いただけます。

The screenshot shows the JEPX website interface. At the top, there is a navigation menu with links for Home, Trading Information, Trading Summary, Trading Member Information, Company Summary, and Contact Us. Below the menu is a large banner image with the text "これからの電力を支える × Japan Electric Power eXchange". The main content area features a table of spot trading index information for November 27, 2014, and a line graph titled "システムプライス" (System Price).

スポット取引インデックス情報		2014年11月27日受渡分の取引情報	
DA-24(¥/kWh)	14.61	TTV(kWh)	42,185,000
DA-DT(¥/kWh)	15.40	DA-24: Day Ahead 24 hours DA-DT: Day Ahead Day Time (8:00-22:00) DA-PT: Day Ahead Peak Time (13:00-16:00) TTV: Total Transaction Volume	
DA-PT(¥/kWh)	15.45		

システムプライス

お知らせ・プレスリリース

2014年5月27日
業務規程細則を更新しました。

2014年4月1日
Webサイトをリニューアルしました。

[過去の一覧はこちら](#)

[お問い合わせはこちら](#)

JEPX
Japan Electric Power eXchange

スポット市場（1日前市場）

スポット市場の概要

エリア	全国市場
	入札時にエリア指定
商品	1日を30分単位に区切った48商品
最小入札単位	0.1MW

電力量換算では商品が30分単位のため500kWhとなる

- 翌日の24時間分を取引する。1年365日取引を行う。
- 入札は締切時刻までに価格と量を指定するブラインドオークション方式
- 複数時間帯を指定するブロック入札が可能
- 連系線空き容量の範囲で約定させるため市場分断し、全国统一価格にならない場合がある。
- 予めバランスグループのコード等受渡契約の届出が必要。

入札スケジュール

締切の10営業日前の8:00～

受渡日前日の10:00

10:10頃約定結果

約定結果を元に広域機関へ計画の提出

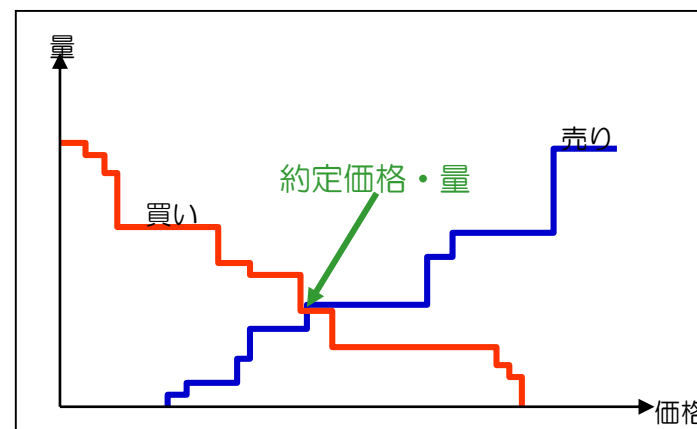
- 入札者は締切時刻までに、入札カーブを作成して入札する。
- 入札カーブは時間帯毎に表形式で価格と量を指定する。

商品		1	2	3	...	15
0:00～0:30	価格	8	10	12		
	量	10	8	-5		
0:30～1:00	価格	9	11	12.34		
	量	10	8	-5		
23:30～24:00	価格					
	量					

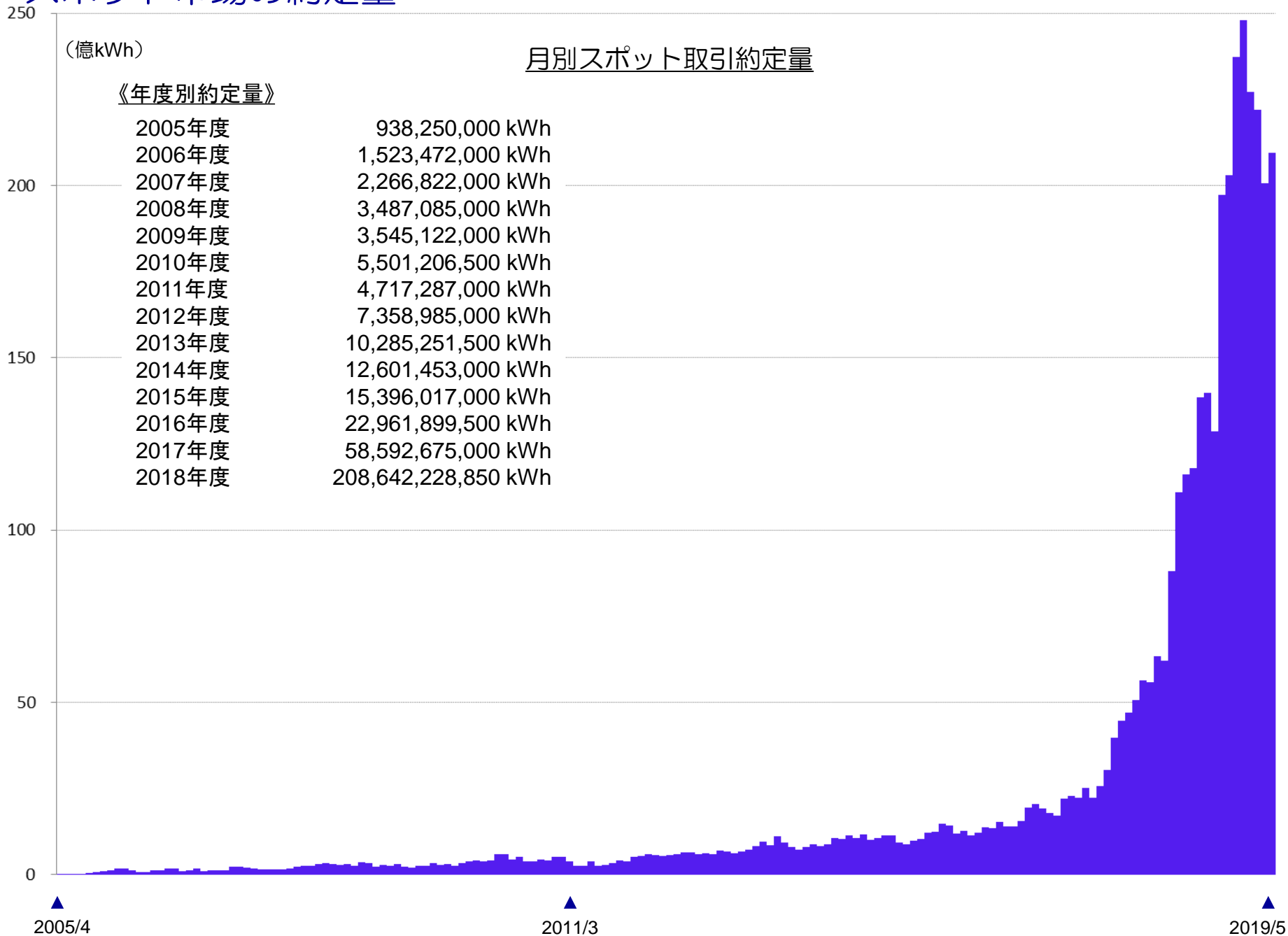
（表の見方）

8円までなら10MW買う、8円より高く10円までなら8MW買う、10円より高くなれば買わない。12円以上となれば5MW売る
※価格は銭単位まで指定できる
※量は正が買い、負が売り

- 入札締切後、取引所は全ての入札カーブを売り・買いに分けて合成する。
- 合成して出来た売り・買い入札カーブの交点を約定価格・約定量とする。原則、約定価格より高い買い入札・安い売り入札が約定する。
- 市場分断する場合、分断されたエリア毎に入札カーブの合成を行い、エリア毎の約定価格・量を算定する。



スポット市場の約定量



当日市場（一時間前市場）

時間前市場の概要

エリア	全国市場 入札時にエリア指定
商品	1日を30分単位に区切った48商品
最小入札単位	0.1MW

- 30分単位の商品毎にザラバで取引
- 24時間開場しており、毎日17時から翌日の取引が開始される。
- 各商品について受渡の1時間前まで取引が可能
- ザラバで価格条件が合った後、連系線の託送可否判定を行い、託送可能な量について約定する。
- 予めバランシンググループのコード等受渡契約の届出が必要。

時間前市場の使い方

1

例えばスポット市場で約定できなかった電気の売買

2

需給間近、事故等、突発的事象が発生し、追加の電気が必要な時に、経済合理性を見て取り得る（最終の）オプション

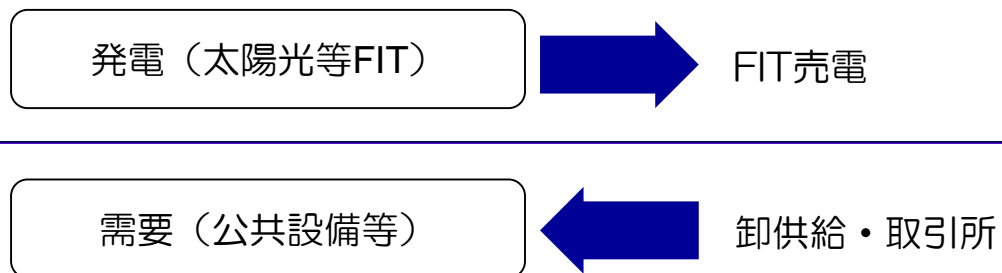
3

市場価格と自身のコストを比較した経済的な差替。

JEPX
Japan Electric Power eXchange

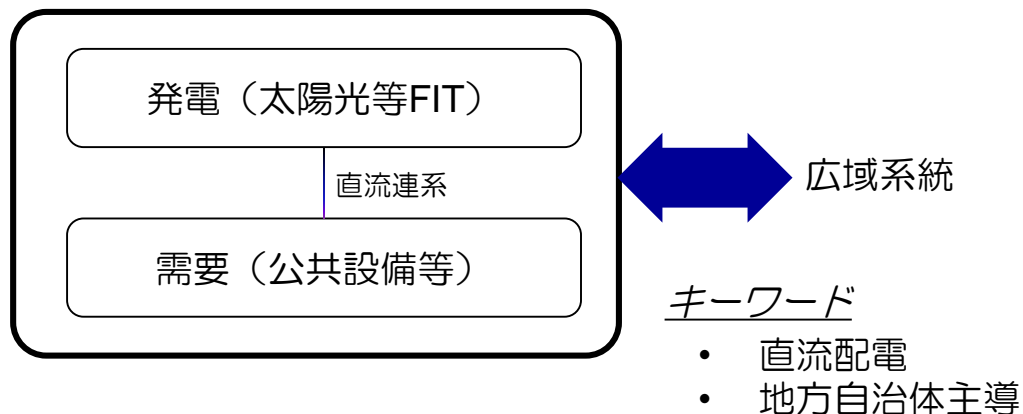
地域電力の今後

これまでの地域電力



- 地産地消...?
- 固定価格買取期間の終了
- 単なる「FIT発電」と「新電力」の組合せ

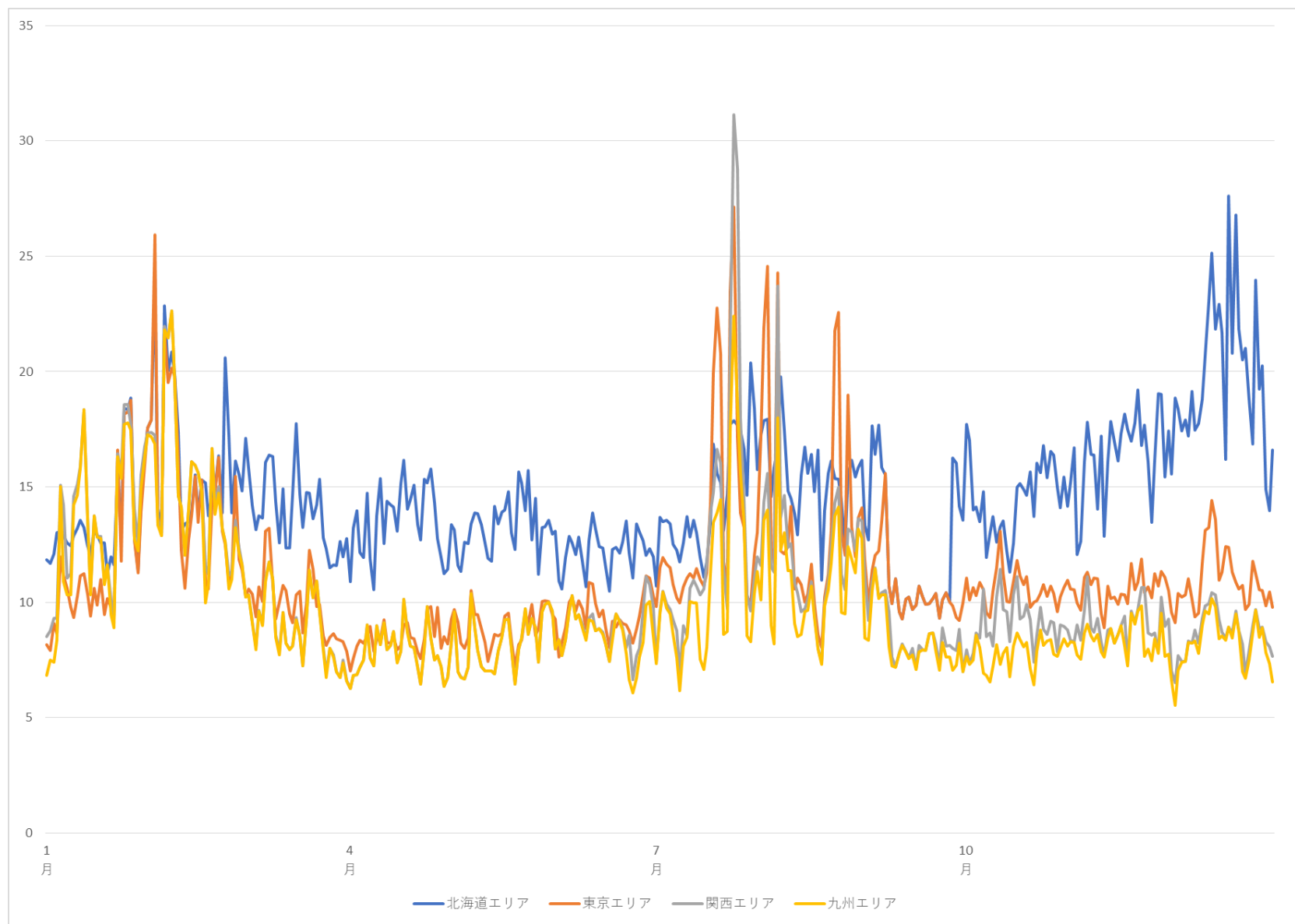
地域電力の姿



期待できる効果

- 雇用創出，地域活性
 - 地域の一体化（PLCなどを含む）
 - 災害対策（地域の独立）
 - インフラ設計の効率化（地中化）
- など...

2018年の取引所価格（エリア別価格推移）



2018年の取引所価格（東京エリアの季節別平均価格）

